

30年目のマリに出かけます

代表 坂場光雄

サヘル地域の砂漠化防止活動をマリ共和国で開始してから、2016年1月で30年目に入りました。30年の間には、治安の悪化などからマリの現場を訪れることができない年もありました。現在もサヘルの森の原点である、トンブクトゥ州での活動は治安の問題から難しい状況が続いています。

現在、首都のバマコや周辺地域の治安は安定していますが、治安状況だけでなく、事故や健康面にも十分留意して、安全第一で活動をしたいと思えます。

ファナ地域で活動を始めて10年目になります。これまでの苗木配布活動などの甲斐があり、住居内の緑陰の樹木、菜園の果樹などとして少しずつですが、緑の塊として目にできるようになってきました。今年はこれまでと同様に苗木配布、荒廃地試験植林などをするとともに、時間の関係からすべての村を把握するのは困難ですが、少しでも村人の暮らしや様子がよりわかるように、見てきたいと思えます。マリ滞在中の様子はfacebookやブログ等でお知らせしたいと思えます。

30年の節目の年により良い活動ができるよう、ご支援・ご協力をどうぞ宜しくお願いいたします。